

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	公園施設単独災害復旧費	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	11 款 3 項 1 目	事業番号	5300	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	大西孝明	
法令根拠等	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法の対象外事業				実施期間	【開始】	令和／平成 2 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	令和 2 年度(予定) ☐ 設定なし
	住みやすい都市空間づくり						
総合計画における本事業の役割	早急な復旧工事により、二次災害の防止を図る。						
事業の対象	公園施設（園路）			事業の目的	豪雨により被災した公園内道路の災害復旧工事を早急に実施することにより、二次災害の防止を図ると共に、機能回復を図る。		
事業の内容（整備内容）	豪雨により被災した公園施設（園路）の復旧。（延長9m）			評価事業としないこととした理由	豪雨等により被災した施設の復旧事業のため。		

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費		0	3,000	0	0	1,749						
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	2,900	0	0	1,700						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	0	0	100	0	0	49						
職員の人工（にんく）数	0.00	0.10				0.10						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費＋人件費	0	781				2,530						
主な実施主体	直接実施	実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）										
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）					3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
										0		

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由 豪雨等により被災した施設の復旧事業であり、災害が発生した場合には必要な事業である。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	